

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名（商品名）	ダントツ EX フロアブル
会社名	ホクサン株式会社
住所	〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	農業科学研究所
電話番号	011-370-2103
FAX 番号	011-370-2070
e-mail	gyoumuka@hokusan-kk.jp
緊急連絡先	営業部業務課
TEL	011-370-2333
推奨用途及び使用上の制限	農薬
整理番号	22101-3

### 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自己発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分外
	感作性（皮膚）	区分外
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分 2（血液系、卵巣）
	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（長期間）	区分 1

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H373：長期にわたる、または反復暴露による血液系、卵巣の障害のおそれ

H410：長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P102：子供の手の届かないところに置くこと。

P103：使用前にラベルをよく読むこと。



<p>応急措置</p> <p>保管</p> <p>廃棄</p> <p>国／地域情報</p>	<p>P260：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。</p> <p>P273：環境への放出を避けること。</p> <p>P391：漏出物を回収すること。</p> <p>P314：気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>—</p> <p>P501：国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物／容器を適切に廃棄すること。</p> <p>—</p>
---	---

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別      混合物

化学名または一般名	官報公示整理番号		CAS 番号	濃度 (%)
	化審法	安衛法		
(E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトロベンゼン (一般名:クロアジン)	(5)-6732	8-(7)-1316	210880-92-5	20.0
水、界面活性剤等	非開示	非開示	非開示	80.0

### 4. 応急措置

<p>吸入した場合</p>	<p>被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。口対口法を用いてはならない。体を毛布などで覆い、保温する。直ちに医師の診断/手当てを受ける。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。物質への曝露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。</p>
<p>皮膚に付着した場合</p>	<p>直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。多量の水と石けんで優しく洗う。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受ける。</p>
<p>眼に入った場合</p>	<p>眼を擦ってはならない。まぶたを開いた状態に保つ。できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の診断/手当てを受ける。</p>
<p>飲み込んだ場合</p>	<p>被災者の意識がない時は何も飲ませてはならない。口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛乳または水を飲ませる。被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布などで覆い、保温する。直ちに医師の診断/手当てを受ける。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。呼吸</p>



が停止している場合には、人工呼吸を行う。物質への曝露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

応急処置をする者の保護

「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤	初期火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水、耐アルコール泡 大規模火災：散水、水噴霧、耐アルコール泡
使ってはならない消火剤	棒状水
火災時の特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。混触危険物質と接触すると火災や爆発の危険性がある。漏出物や消火水は水系汚染のおそれがある。
特有の消火方法	風上から作業する。火災発生場所周辺への関係者の立ち入りを禁止する。もし可能であれば、熱にさらされた容器を移動するか、または水で冷却する。消火に用いた水は堰を作って囲い、後で廃棄する。物質がちらばらないようにする。
消火を行う者の保護	適切な全身保護衣および空気式呼吸器（SCBA）を着用する。適切な全身保護衣であっても、熱および有害な蒸気や液体に対し限られた防御しかできない点に留意して消火活動を行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。作業時に使用する個人用保護具については「8. 暴露防止及び保護措置」を参照。全ての方向に適切な距離をとり、漏出区域への立ち入りを禁止する。適切な換気を行う。
緊急処置	防災活動に無関係な全ての人々を風上側に遠ざける。専門家に相談する。周辺の居住者に警告する。水路では航行を遮断する。大きな安全地帯を設定する。
環境に対する注意事項	漏出物および漏出物処理時の廃液が、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所へ流入するのを防ぐ。漏出物を回収すること。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。漏出した液を密閉式の容器にできる限り集める。残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。大量の場合、広がらないように堰を作り、後で廃棄する。廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。
二次災害の防止策	適切な消火剤を準備する（「5. 火災時の措置」を参照）。大量の場合、適切な避難距離をとる。液相が蒸発し、固体が乾固した後の固体粉じんの発生を防ぐ。



**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い

技術的対策 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。屋外での取扱いはできるだけ風上から行う。取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。

局所排気・全体換気 局所排気、全体換気を行う。（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）

注意事項 設備対策を行い、保護具を着用する。（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）

安全取扱い注意事項 取扱い後に手や顔等を良く洗うこと。取り扱う場所での飲食と喫煙を禁止する。汚染された作業衣は作業場から出さない。

保管

技術的対策 容器を密閉する。

適切な保管条件 適切な方法で全体をよく換気する。乾燥した場所に保管する。混触危険物質から離して保管する。「10. 安定性及び反応性」を参照。食料や飼料から離して保管する。

安全な容器包装材料 情報なし。

**8. 暴露防止及び保護措置**

設備対策 取扱場所に、洗眼設備や手や全身の洗浄設備を設ける。

許容濃度/管理濃度 該当しない

保護具

呼吸器の保護具 呼吸用保護具は、必ず規格に合致したものを使用する。

手の保護具 手の保護具は、必ず規格に合致したものを使用する。不浸透性保護手袋。

目の保護具 眼の保護具は、必ず規格に合致したものを使用する。安全ゴーグルまたは保護眼鏡付き防災面。

皮膚及び身体の保護具 個人用保護具（PPE）は、必ず規格に合致したものを使用する。帽子、靴等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

衛生対策 作業中は飲食、喫煙をしない。製品の取扱い後および飲食の前にはよく手や顔を洗浄する。汚染された作業衣は作業場から出さない。

**9. 物理的及び化学的性質**

外観 液体

色 類白色



臭い	データなし
pH	6.1 (20%分散液、20°C)
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	測定不能 (クリーブランド開放式)
自然発火温度 (発火点)	データなし
燃焼限界-上限 (%)	データなし
燃焼限界-下限 (%)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度 (Air=1)	データなし
比重	1.09 (25°C)
溶解度 (水)	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
蒸発率	データなし
粘度	618mPa・s (25°C)

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤、強酸、強塩基：火災や爆発の危険
避けるべき条件	加熱、液相の蒸発および固相の乾固。
混蝕危険物質	強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、塩素化物、すす

## 11. 有害性情報

製品のデータがない場合は成分のデータを記載しています。

急性毒性	経口 ラット LD <sub>50</sub> >2000mg/kg 経皮 ラット LD <sub>50</sub> >2000mg/kg 吸入 データなし
	クロチアニジン 粉じん/ミスト ラット LC <sub>50</sub> (4h) >6.141mg/L
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ (皮膚刺激性/腐食性試験) 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷刺激性	ウサギ (眼刺激性/腐食性試験) 刺激性なし



呼吸器又は皮膚感作性	モルモット 皮膚感作性（ビューラー法） 感作性なし
生殖細胞変異原性	データなし <i>in vitro</i> クロチアニジン Ames 試験（ネズミチフス菌および大腸菌） 陰性 遺伝子突然変異試験（チャイニーズハムスター細胞） 陰性 染色体異常試験（チャイニーズハムスター細胞） 陽性  <i>in vivo</i> クロチアニジン 小核試験（マウス、経口） 陰性 不定期 DNA 合成試験（ラット、経口、肝臓） 陰性
発がん性	データなし  クロチアニジン ラット 発がん性試験（混餌） 発がん性なし マウス 発がん性試験（混餌） 発がん性なし
生殖毒性	データなし  催奇形性 クロチアニジン ラット 催奇形性試験（経口） 催奇形性なし ウサギ 催奇形性試験（経口） 催奇形性なし  繁殖性 クロチアニジン ラット 2 世代繁殖毒性試験（混餌） 繁殖性に影響なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし  クロチアニジン ラット 神経毒性試験（経口） 神経系
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし  クロチアニジン ラット 2 年間慢性毒性試験（混餌） 血液、卵巣 イヌ 90 日間反復投与毒性試験（混餌） 血液 イヌ 1 年間慢性毒性試験（混餌） 血液
吸引性呼吸器有害性	データなし
その他の影響	データなし

## 12. 環境影響情報

製品のデータがない場合は成分のデータを記載しています。

### 生態毒性

#### 急性毒性

魚類	コイ	LC50(96h)	>1,000 mg/L
甲殻類	オオミジンコ	EC50(48h)	>1,000 mg/L
藻類	藻類	ErC50(0-72h)	520 mg/L



慢性毒性	データなし  クロチアニジン 魚類 ファットヘッドミノー NOEC 20 mg/L 甲殻類 アミ NOEC 0.0097 mg/L オオミジンコ NOEC 0.12 mg/L 藻類 藻類(0-72h) 130 mg/L
その他	データなし  クロチアニジン 蚕、ミツバチ、マルハナバチに対して影響がある。
生分解性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書（改訂版）リストに掲載なし

**13. 廃棄上の注意**

廃棄方法	国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物／容器を適切に廃棄する。
------	---

**14. 輸送上の注意**

国際規制

IMDG

国連番号	UN3082
品名（正式輸送品目名）	環境有害物質、液体、n. o. s（クロチアニジン混合物）
国連分類	9
容器等級	Ⅲ
副次危険性	-
海洋汚染物質	該当
Ems No.	F-A；S-F

IATA

国連番号	UN3082
品名（正式輸送品目名）	環境有害物質、液体、n. o. s（クロチアニジン混合物）
国連分類	9
容器等級	Ⅲ
副次危険性	-

緊急時応急措置指針番号	171
-------------	-----



国内規制	国内法に従う
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	法第2条第4項、施行令第2条の1 産業廃棄物
高圧ガス保安法	高圧ガス、第2条 該当しない
化審法	該当しない
農薬取締法	農薬

## 16. その他の情報

問い合わせ先	ホクサン株式会社 営業部業務課 北海道北広島市北の里 27 番地 4 TEL 011-370-2333
免責条項	記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。